Panasonic®

ワイヤレスアダプター機能を ご使用いただくには

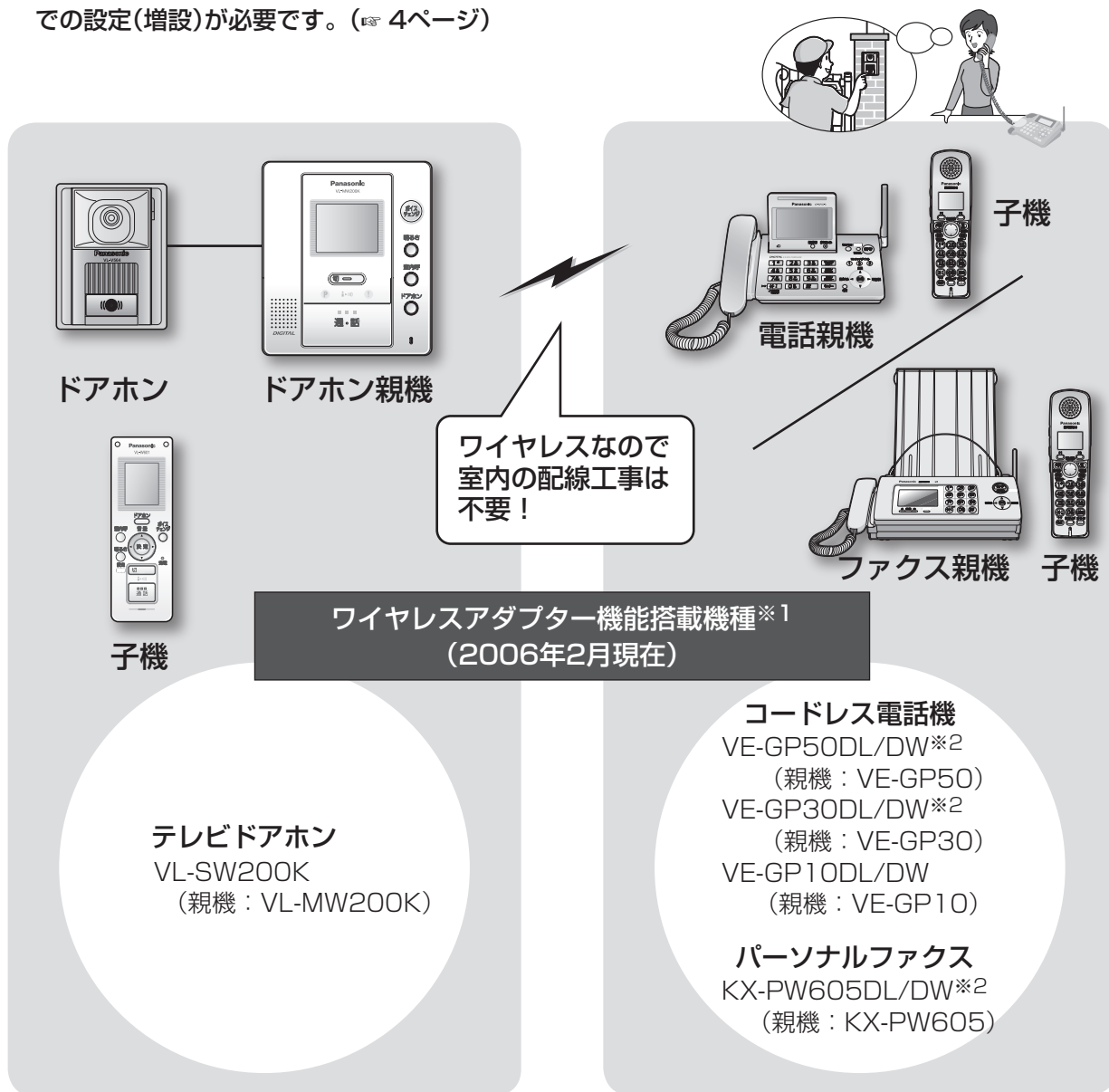
もくじ

■本書は、ワイヤレスアダプター機能を使うために必要な操作やお願い、および困ったときの対処方法などを記載しています。よくお読みのうえ、正しくお使いください。

■お読みになったあとは、お使いのテレビドアホン、または電話機 / ファクスの取扱説明書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

ワイヤレスアダプター機能とは

「テレビドアホン」と「コードレス電話機またはパーソナルファクス」を無線（ワイヤレス）で接続する機能です。この機能により、電話機/ファクスでもドアホンとの通話ができるようになります。

- この機能を搭載した機種同士でのみ、無線接続ができます。
- **無線接続するには、ドアホン親機と電話/ファクス親機間での設定（増設）が必要です。（☞ 4ページ）**

※1 機能搭載機種は、追加になることがあります。
※2 別売のドアホンアダプター「VE-DA10-H」も接続できますが、ワイヤレスアダプター機能と同時には使えません。

- 本書では、上記の対象機種のうち、ご使用例として下記の機種で説明を記載しています。
  テレビドアホン：VL-SW200K、電話機/ファクス：KX-PW605DL/DW
- 機種によって、ボタンの名称・位置・形状、ディスプレイなどが異なる場合がありますので、お使いの機種の取扱説明書とあわせてよくお読みください。

使用上のお願い

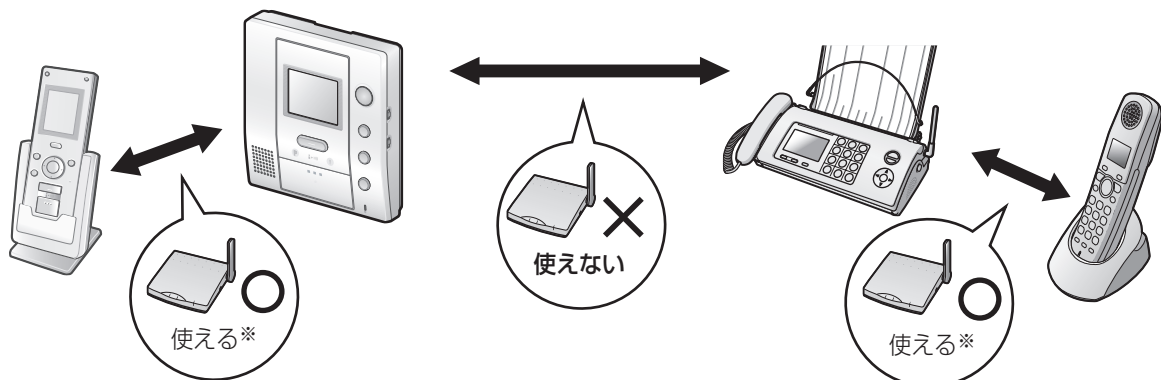
設置場所について

- ドアホン親機と電話/ファクス親機の間に何も障害がない場合、見通し約100 m以内の距離で使えます。
- 距離が離れていたり、次のような障害物があると、電波が弱くなり、ワイヤレスアダプター機能が使えないことがあります。
  - 金属製のドアや雨戸
  - アルミはく入りの断熱材が入った壁
  - コンクリートやトタン製の壁
  - 壁を何枚もへだてたところ
  - ドアホン親機と電話/ファクス親機をそれぞれ別の階や家屋などで使うとき

  4ページの操作を行うと、ドアホン親機で電話/ファクス親機の電波状態を確認できるようになります。
  設置の際に確認して、電波の強い場所に設置してください。（☞ 5ページ）
- **ドアホン親機と電話/ファクス親機の間には、別売の中継アンテナ（☞ 下記）は使えません。**

親機間の電波について

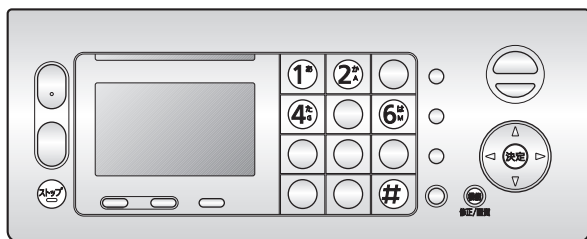
子機同様に 2.4 ～ 2.4835 GHz の電波を使用します。電子レンジなど、同じ電波を使用する機器が近くにあると、電波の干渉を受けることがあります。電波について詳しくは、お使いのテレビドアホンや、電話機/ファクスの取扱説明書の「使用上のお願い」に記載していますので、よくお読みください。

別売の中継アンテナ（KX-FAN1）のご使用について

※ただし、子機との間で使う中継アンテナも、テレビドアホン側と電話機/ファクス側で**合わせて2台までなど、設置（登録）上の制限があります。**（詳しくは☞ 8ページ）

テレビドアホンと電話機/ファクスを接続する（増設）

接続するには、下記の登録操作（ワイヤレスアダプター設定）が必要です。
電話/ファクス親機の操作に続けて、約2分以内にドアホン親機の操作をしてください。
●操作する機器同士は、あらかじめ近づけておいてください。
●ボタンの名称・位置・形状、ディスプレイなどは機種によって異なりますが、操作は同じです。

電話/ファクス親機の操作

VE-GP10DL/DWの場合は、電話の子機で操作してください。

1 電話機コードを抜く

●登録操作は、電話機コードを抜いた状態で行ってください。
●「電話機コードを接続してください」と表示されているときは、ストップ（電話機は[取消]ボタン）を押して表示を消してください。

2 機能 修正/画質 を押し、# 1 6 4 を押す

ﾜｲﾔﾚｽｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ
[決定]押す

3 （決定）を押す

減設=1
増設=2

4 2 を押す

ﾄﾞｱﾎﾝ親機を
操作してくださ い

【2分以内で次の手順へ】

ドアホン親機の操作

5 切 を押したまま、明るさ を約5秒間押す

●お知らせランプが緑点滅する（登録開始）
●登録が完了すると「ピー」と鳴り、ランプが緑点灯する（約5秒間）
●登録に失敗すると「ピッピッピッ」と鳴り、ランプが赤点滅する（約5秒間）
➔ 手順1からやり直す

6 登録が終わったら ドアホンの呼出ボタンを押し、電話機/ファクスでも呼出音が鳴ることを確認する

●一度押さないと、ドアホンに呼びかけられません

7 終わったら 電話機コードを電話/ファクス親機の「回線」に接続する

お願い

●登録後は、設置場所で電波状態を確認してください。（☞ 右ページ）
●テレビドアホンと電話機/ファクスの接続をやめるとき➔ 9ページの減設操作をしてください。

お知らせ

●電話/ファクス親機の操作をまちがえたとき：ストップ（電話機は[取消]ボタン）を押し、手順2からやり直す
●ドアホン親機の操作をまちがえたとき　：切 を押し、手順5からやり直す
●手順5のあと登録が完了するまでは、ドアホンからの呼び出しを受けられません。
●別売のドアホンアダプター「VE-DA10-H」を接続しているとき：
手順4で自動的に接続が解除（減設）されます。（同時には使えません）

電波の状態を確認する（お知らせランプ表示）

左ページの増設後は、ドアホン親機で、電話/ファクス親機からの電波状態を確認できます。
下記の操作を行い、電波の強い場所に設置してください。

1 **ボイスチェンジ を押したまま、室内呼 を押し続ける**

●2つのボタンを押している間、お知らせランプが電波の状態を表示する（☞ 下記）

2 終わったら
ボタンから指を離す

■お知らせランプの表示について

ランプ表示		状態
電波状態確認中の表示（☞ 上記）	緑点灯	**強い** ↑ / **弱い** ↓ — この範囲で設置する 電話/ファクス親機からの電波状態を表しています。 **●緑点灯になる場所への設置をお勧めします。**
	オレンジ点灯	
	赤点灯	
	赤点滅（遅い）	電波が届かず、ワイヤレスアダプター機能が使えません。（圏外）
その他の状態での表示	赤点滅（遅い）	ワイヤレスアダプター設定後、電話/ファクス親機が圏外になったとき
	赤点滅（2回ずつ）	2台の中継アンテナをそれぞれ、ドアホン親機と電話/ファクス親機に、同じ番号で登録したとき（☞ 8、10ページ）

ワイヤレスアダプター機能を使ってできること

電話機/ファクスで、次のことができます。

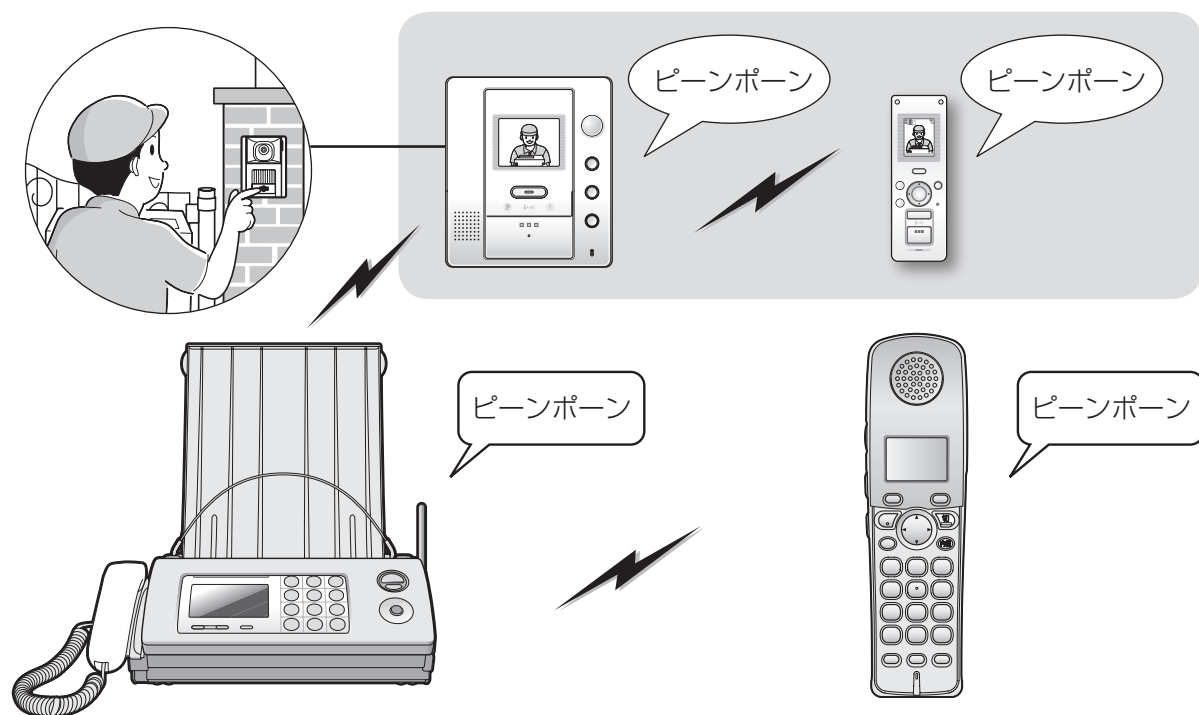
■ドアホンの呼び出しに応答する/ドアホンに呼びかける

■外出先でドアホンの呼び出しに応答する(ドアホンワープ)※

※VE-GP10DL/DWには、ドアホンワープ機能はありません。

- ワイヤレスアダプター設定後も、テレビドアホンと電話/ファクス間での内線通話はできません。
- 下記は、呼び出しに応答するときの基本操作です。
  ドアホンへの呼びかけやドアホンワープなど、下記以外の操作や補足説明などの詳細は、
  お使いの電話機/ファクスの取扱説明書をお読みください。

ドアホンの呼び出しに応答する

ドアホンから呼び出しがあると、ドアホン親機からの電波によって、電話機/ファクスでも呼出音が鳴り、下記の操作で応答できます。

電話/ファクス親機

1 呼出音が鳴ったら
受話器を取り、話す

2 終わったら
受話器を戻す

子　機

1 呼出音が鳴ったら
充電台から子機を取る、または 内線 を押し、話す

2 終わったら
切 を押す

ドアホンの呼び出しに応答する(つづき)

■電話中にドアホンが鳴ったとき

お知らせ

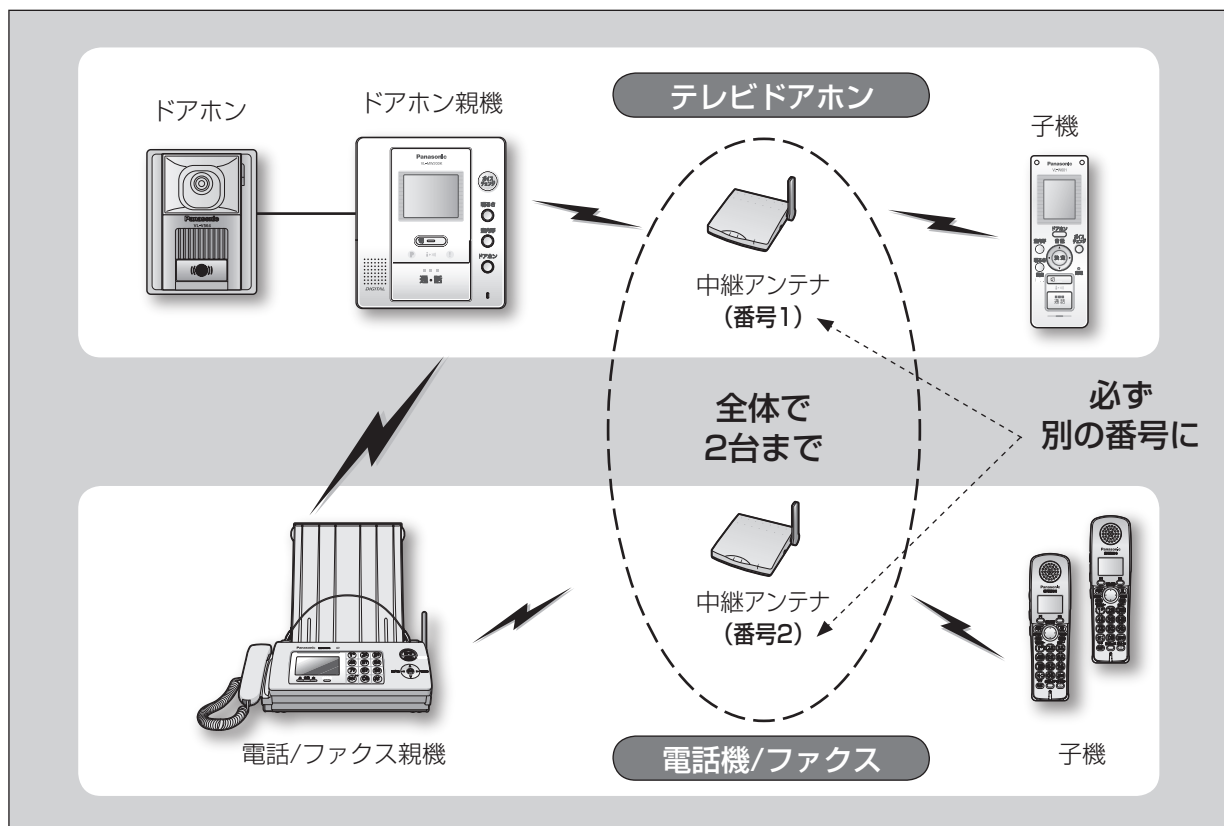
- 電話機/ファクスで鳴るドアホンの呼出音(音の種類)は、変更できません。
- テレビドアホンと電話機/ファクスの間で、ドアホン通話を転送することはできません。

中継アンテナのご使用(制限)について

ワイヤレスアダプター機能をご使用の場合、中継アンテナの登録が下記のように制限されます。

登録できる台数	テレビドアホン側と電話機/ファクス側で **合わせて2台まで**
登録時のアンテナ番号	テレビドアホン側の中継アンテナと、電話機/ファクス側の中継アンテナは **必ず別の番号に**

● 制限に従って登録しないと、ドアホン親機の「お知らせランプ」が赤点滅します。(☞ 10ページ)
すでに合計3台以上の中継アンテナをご使用の場合なども、ワイヤレスアダプター設定後は「お知らせランプ」が赤点滅して、正しく動作しません。
➔ 制限に合うように、中継アンテナの登録を変更してください。

■中継アンテナの設置例(ワイヤレスアダプター設定時)

■中継アンテナの増設/減設のしかた

お使いのテレビドアホンや電話機/ファクスの取扱説明書をお読みください。

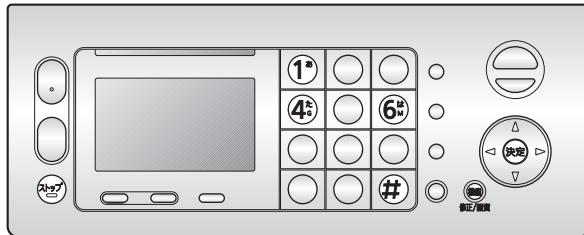
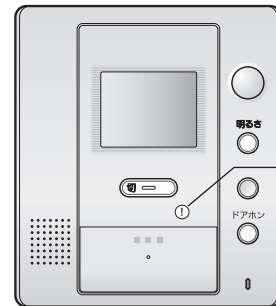
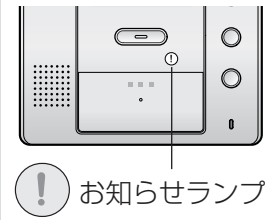
お知らせ

● ドアホン親機と電話/ファクス親機の間には、中継アンテナは使えません。(☞ 3ページ)
● 1台の中継アンテナを、ドアホン親機と電話/ファクス親機の両方に登録することはできません。

テレビドアホンと電話機/ファクスの接続をやめるとき(減設)

電話/ファクス親機の操作に続けて、ドアホン親機の操作をしてください。
●ボタンの名称・位置・形状、ディスプレイなどは機種によって異なりますが、操作は同じです。

電話/ファクス親機の操作

VE-GP10DL/DWの場合は、電話の子機で操作してください。

1 機能 修正/画質 を押し、# 1 6 4 を押す

ワイヤレスアダプター
[決定]押す

2 (決定)を押す

減設=1
増設=2

3 1 を押す

ドアホンを
減設しました

4 ストップ を押す

●電話機は[取消]ボタンを押す

ドアホン親機の操作

5 切 を押したまま、明るさ を約5秒間押す

●お知らせランプが緑点滅する

6 ドアホン を押す

●減設を開始し、完了すると「ピー」と鳴る

困ったとき

下記の確認と処置を行ってください。

症　状	確認と処置	ページ
ドアホン親機の「お知らせランプ」が赤点滅(2回ずつ)する お知らせランプ	●テレビドアホンと電話機/ファクスに、合計3台以上の中継アンテナを登録していませんか？	8
	➡ 合計で2台以下になるように、中継アンテナを減設してください。	※
	●ドアホン親機と電話/ファクス親機に、それぞれ同じ番号の中継アンテナが登録されています。	8
	➡ どちらかの中継アンテナを減設し、別の番号で登録し直してください。	※
電話機/ファクスがドアホンからの呼び出しに反応しない または 電話機/ファクスでドアホン通話が途切れる	●ワイヤレスアダプター設定は完了していますか？ ➡ 設定してください。	4
	●ドアホン親機と電話/ファクス親機の間が離れすぎている、または間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ 上記の場合、電話機/ファクスの子機画面に「圏外」と表示されていなくてもドアホンと通信できないことがあります。	3
	➡ ドアホン親機で電波状態を確認し、電波の強い場所に電話/ファクス親機を設置し直してください。(別売の中継アンテナで、親機同士の電波を中継することはできません)	5
	●近くで電子レンジや無線LAN機器などを使っていませんか？ ➡ これらの機器から離してご使用ください。	—
ドアホンの子機をドアホン親機に近づけても、圏外になり、使えない	●下記の場合は、ドアホン親機が電話/ファクス親機の電波を探すため、子機との間の電波が一時的に圏外になり、使えないことがあります。 • ドアホン親機と電話/ファクス親機の間が離れすぎている、または間にコンクリート壁などの障害物がある	3
	➡ ドアホン親機で電波状態を確認し、電波の強い場所に電話/ファクス親機を設置し直してください。(別売の中継アンテナで、親機同士の電波を中継することはできません)	5
	• 電話/ファクス親機を、減設しないまま廃棄した ➡ 9ページの手順5、6を行い、ドアホン親機から電話/ファクス親機の情報を消してください。	9

症　状	確認と処置	ページ
ワイヤレスアダプターの設定を解除(減設)したら、テレビドアホンや電話機/ファクスでの通信にノイズが入るようになった	● ドアホン親機と電話/ファクス親機の距離が近すぎませんか？ ➡ どちらも電波を使う機器のため、機器同士を減設すると、お互いの電波が干渉することがあります。機器同士を３ m以上離してください。	―

■中継アンテナを増設(登録)中に、こんな表示が出たら

ワイヤレスアダプター設定後、ドアホン親機に中継アンテナを増設(登録)する場合、登録操作中のドアホンの子機画面に、下記の表示が出ることがあります。

表 示(ドアホンの子機)	原因と処置	ページ
中継アンテナ番号(1または2)を表示 ↓ 中継アンテナ1は電話側に登録されています中継アンテナ2を選択し、登録してください	●指定した中継アンテナ番号は、電話/ファクス親機ですでに登録されているため、使えません。 ➡ 表示された別の中継アンテナ番号で、登録してください。	8 ※
中継アンテナ1,2は電話側に登録されています これ以上登録できません	●電話/ファクス親機に、すでに中継アンテナが2台登録されているため、これ以上登録できません。 ➡ テレビドアホンで中継アンテナを使いたい場合は、電話/ファクス親機から中継アンテナを1台減設してください。	8 ※
中継アンテナ番号(1または2)を表示 ↓ 中継アンテナ1は電話側に登録されています これ以上登録できません	● ドアホン親機と電話/ファクス親機に、それぞれ中継アンテナが1台ずつ(合計2台)登録されているため、これ以上登録できません。 (左記は、ドアホン親機に中継アンテナ2、電話親機に中継アンテナ1が登録されている場合に、ドアホン親機に中継アンテナ1を登録しようとしたときの表示例)	8

※中継アンテナの減設・増設操作は、お使いのテレビドアホンや電話機/ファクスの取扱説明書をお読みください。